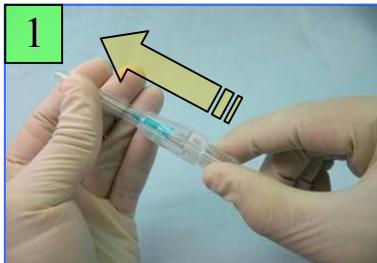


# スパーキャス 5

## ～使用方法～



安全カバーを保持したまま、針先を傷めないようにプロテクターを外します。



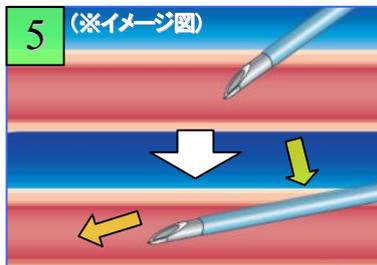
外筒を持ち、安全カバーを回して金属内針と外筒の密着を外します。外筒が金属内針の刃面部分に覆いかぶさっていないことを確認します。



刃面の向きを確認し、安全カバーを持って穿刺します。(白いボタンスイッチが上向きの場合、刃面も上向きとなります。)



フラッシュバック(逆血)を確認します。＜サイドホール(側孔)付製品は外筒内でも逆血を確認できます。＞  
(血管確保に失敗し、再穿刺を行う場合は新しい留置針を使用して下さい。)



逆血が確認できたら、角度を低くして外筒と金属内針と一緒に数ミリ程進めます。



内針を動かさず外筒を必要な深さまで進めます。  
(外筒内では金属内針を前後に動かさないで下さい。外筒が損傷し、破断の恐れがあります。)



外筒内への血液逆流の確認後は、直ちに駆血帯を解除します。

**金属内針が外筒にあるときに白いボタンスイッチを押し※1※2、金属内針を安全カバー内に収納します。**

**※注意:**

(金属内針にサイドホールがあるものはサイドホール部が圧止血補助弁を通過する前にボタンスイッチを押しください。サイドホール部が圧止血補助弁を通過する位置まで内針除去を行った場合、サイドホールから血液漏れの恐れがあります。)

(ボタンスイッチを押しでも金属内針が収納されなかった場合は、もう一度白いボタンスイッチを押しして下さい。それでも作動しない場合は、金属内針をゆっくりと抜き取り、速やかに耐貫通性で漏れない容器に安全な方法で廃棄して下さい。)

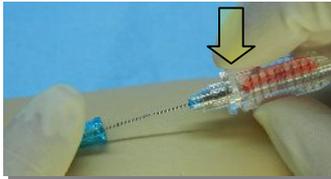
**(※1)ボタンスイッチを押すタイミング**



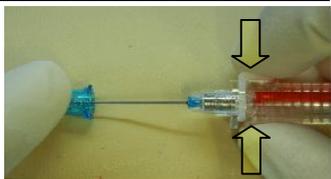
**ボタンスイッチを押す時は、しっかりと外筒を保持して下さい。**

**(※2)ボタンスイッチ操作パターン**

パターン①:真上から



パターン②:安全カバーを90度傾け、サイドから



収納した安全カバーは施設で定められた回収容器へ速やかに廃棄します。

添付文書を必ずご参照下さい。

